

令和 7 年 12 月 3 日（水）  
県民生活課

## 高知県食品ロス削減推進計画の進捗状況について

1	高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表 .....	1
2	令和 7 年度県民世論調査結果 .....	7
3	第 2 期高知県食品ロス削減推進計画の策定について .....	9

## 高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表

### (1) 食品ロス削減に向けた広報・啓発、教育

成果目標(令和7年度)

- (1) 県内の食品ロス発生量を4年間で現状より5.2%削減する。
- (2) 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7(2025)年度まで90%以上にする。
- (3) 食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7(2025)年度までに3.4%以上にする。

R7.9末時点

実施項目 取組施策	計画 (P)	実行 (D)	成果 (C)		R7年度の実施状況と予定 (A)	計画 冊子 記載 ページ	担当課 担当者 (内線)
	R6年度 取組内容	R6年度 実施状況	R6年度 成果	R6年度 評価			
<b>項目</b> (ア) 食品ロスの現状の把握  <b>施策</b> 家庭から発生する食品ロスの実態を組成調査を実施することで把握します。	○高知市及び四万十町において家庭から発生する食品ロスの組成調査を実施し(令和4年度と同方法)、令和6年度の家庭系食品ロス量を推計し、成果目標(1)の進捗状況を把握する。  ○結果等を活用し、県民に「自分事」として認識してもらえるような啓発を行う。	・11/11・・・四万十町、11/19・・・高知市 ・外部委託により、上記の市町から抽出採取した家庭ゴミの組成調査を実施。廃棄物に含まれる食品ロス割合を算出し、県内の家庭系食品ロス量の推計に活用	R6年度 成果 ・県の家庭系食品ロス量を推計することで、高知県食品ロス削減推進計画の目標(1)に掲げている食品ロスの削減について、達成状況を把握することができた。 ・調査結果写真を食品ロスに関する出前授業や研修等の資料で活用し、視覚的な啓発効果につなげることができた。	R6年度 評価 ○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> 同調査をR6年度と同じ場所・方法にて実施するため入札により業者決定。 両市・町に協力を依頼し、実施予定日決定(高知市:11月11日、四万十町:11月10日)  <b>【実施予定】</b> 調査を実施し、結果を第2期高知県食品ロス削減推進計画の目標値に反映させる。	23	県民生活課 森田 (9653)
<b>項目</b> (イ) 食品ロスの削減の意義の広報啓発  <b>施策</b> 食品ロス問題を知ってもらい、家庭生活の中ですぐに行える身近な取組を紹介したリーフレットを作成し、県民の目に触れる場所に配布します。	○高知新聞にペンシル広告を掲載し、食品ロス問題について広報を実施する。  ○チラシを作成し、県内市町村に配布する。	・高知新聞ペンシル広告年間全5回実施 8/10「みんなで節約！食品ロス削減！」 10/1「10月は食品ロス削減月間！」 10/26「できることたくさんあるよ！食品ロス削減!!」 12/14「忘年会でも食品ロス削減！3010運動!!」 2/1「恵方巻きの食品ロスをなくそう」 ・チラシを12,000部作成し、県内市町村に配布	・高知新聞へのペンシル広告掲載やチラシの配布により、広く食品ロス削減について啓発することができた。 ・県民意識調査(令和6年度)において、「食品ロス問題を知っている(よく知っている・ある程度知っている)」と回答した県民は90.9%と高水準の結果となり、食品ロスの削減の意義の啓発効果が表れている。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b>  <b>【実施予定】</b> 高知新聞ペンシル広告年間全4回実施 テーマ案 10/1「食品ロス削減月間告知・食品寄附啓発」 10/30「食品ロス削減の日告知」 12/5 宴会時の3010運動 1/10 恵方巻き予約推奨	23	県民生活課 森田 (9653)
<b>項目</b> (ウ) 期限表示の正しい理解促進  <b>施策</b> 「賞味期限」と「消費期限」の違いを理解してもらうため、啓発物やラジオ等を活用し広く周知を行います。	下記の媒体で広報を実施する。 ・高知新聞 ・生活情報誌 ・ラジオ広報 ・さんSUN高知	・下記媒体で期限表示について広報を実施 高知新聞記事下5段(10/5)、ほっとこうち10月号、ミリカ10月号、テレビ読上げ(10月)、さんSUN高知(10月) 、ラジオ(RKC)(10/1)「県からのお知らせ」 ・チラシを12,000部作成し、県内市町村に配布	・ラジオ広報や生活情報誌等により、期限表示について啓発することができた。 ・県民意識調査(令和6年度)において、「賞味期限と消費期限の違いについて知っている」と回答した県民の割合は87.5%と高く、広報の効果が表れている。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ラジオ広報(RKC)「県からのお知らせ」(9/30)  <b>【実施予定】</b> 下記媒体で食品ロス削減月間(10月)・食品ロス削減の日(10月30日)について広報を実施 高知新聞ペンシル広告(10/1・10/30)、高知新聞下5段(10/1)、ほっとこうち10月号、ミリカ10月号	23	県民生活課 森田 (9653)
<b>項目</b> (エ) 食品ロス削減月間(10月)・食品ロス削減の日(10月30日)の広報  <b>施策</b> 食品ロス削減月間にポスター掲示やラジオ、新聞等への広報を通じて、食品ロス削減月間・削減の日の広報を実施します。	下記広報媒体で広報を実施する。 ・(イ)で作成する啓発リーフレット ・高知新聞 ・生活情報誌 ・ラジオ広報 ・さんSUN高知 ・ポスター	下記媒体で食品ロス削減月間(10月)・食品ロス削減の日(10月30日)について広報を実施 高知新聞記事下5段(10/5)、ほっとこうち10月号、ミリカ10月号、テレビ読上げ(10月)、さんSUN高知(10月) 、ラジオ(RKC)(10/1)「県からのお知らせ」	ラジオ広報や生活情報誌等により、食品ロス削減月間(10月)・食品ロス削減の日(10月30日)について啓発することができた。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ラジオ広報(RKC)「県からのお知らせ」(9/30)  <b>【実施予定】</b> 下記媒体で食品ロス削減月間(10月)・食品ロス削減の日(10月30日)について広報を実施 高知新聞ペンシル広告(10/1・10/30)、高知新聞下5段(10/1)、ほっとこうち10月号、ミリカ10月号	23	県民生活課 森田 (9653)

## 高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表

### (1) 食品ロス削減に向けた広報・啓発、教育

成果目標(令和7年度)

- (1) 県内の食品ロス発生量を4年間で現状より5.2%削減する。
- (2) 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7(2025)年度まで90%以上にする。
- (3) 食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7(2025)年度までに3.4%以上にする。

R7.9末時点

実施項目 取組施策	計画(P)	実行(D)	成果(C)		R7年度の実施状況と予定(A)	計画 冊子 記載 ページ	担当課 担当者 (内線)
	R6年度 取組内容	R6年度 実施状況	R6年度 成果	R6年度 評価			
<b>項目</b> (オ) 食育を通じた食品ロス削減意識の醸成  <b>施策</b> ヘルスメイト(食生活改善推進員)が健康講話や調理実習、試食(共食)の機会を提供することにより、食物への感謝の気持ちを醸成します。	下記取組を全市町村で実施。 (計103回開催予定) ・健康講話 ・指導教材テキストの配布 ・調理実技・実習と試食(共食)	・食育講座:34市町村115回実施 ・「食品ロス削減ガイドブック」を市町村食生活改善推進協議会長に配布し、活動の中での活用を促した。	食育講座実施校のうち10校でアンケートを実施した結果、9割の児童が食の大切さについて「理解できた」と回答し、講話や調理実習を通して、食の役割や大切さを学ぶ機会を提供できた。また、自由記載では、食材や食事づくりの大変さやありがたさを実感したという内容の回答が複数あり、食物への感謝の気持ちの醸成につながった。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ・食育講座を4市町村5回実施  <b>【実施予定】</b> ・食育講座を32市町村103回実施	24	保健政策課 松井 (2305)
<b>項目</b> (オ) 食育を通じた食品ロス削減意識の醸成  <b>施策</b> 給食の時間に学校給食を教材とした食品ロスに関する指導を実施します。また、社会科や家庭科、総合的な学習の時間などにおいて、食品ロスに関する指導を行います。	学級担任、教科担任による食品ロスと関連する教科での指導の実施。 栄養教諭等による給食の時間における食に関する指導における、食品ロスの指導の実施。	・市町村教育委員会を通じて、小中学校に対して食品ロス月間の周知及び食品ロスに関する指導の実施について取組を依頼した。 ・栄養教諭・学校栄養職員を対象とした研修会において、食品ロス削減に向けた県の取組と教材等について周知した。	・10月に市町村教育委員会を通じ、食品ロス月間及び食品ロス月間における取組について周知し、9月の研修会においても、食品ロスと関連させた指導の実施や教材の活用について啓発することができた。 ・小中学校の食品ロスに関する指導の実施率について、令和5年度は87.5%、令和6年度は90.4%と向上した。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ・市町村教育委員会を通じ、小中学校に対する食品ロス削減月間の周知及び食品ロスに関する指導の実施に関する取組を依頼した。(9月) ・栄養教諭や学校栄養職員を対象とした研修会において、食品ロス削減に向けた取り組みの実施を促した。(9月) <b>【実施予定】</b> ・給食の時間や教科等で学校給食を活用した食品ロスに関する指導の実施。 ・食品ロスに関する指導の実施状況について、食に関する指導の実施状況調査で確認。	24	保健体育課 吉良 (4928)

高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表

(2) 食品ロスの発生抑制 ア 消費者に向けた呼びかけ

成果目標(令和7年度)

- (1) 県内の食品ロス発生量を4年間で現状より5.2%削減する。
- (2) 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7(2025)年度まで90%以上にする。
- (3) 食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7(2025)年度までに3.4%以上にする。

R7.9末時点

実施項目 取組施策	計画(P)	実行(D)	成果(C)		計画 冊子 記載 ページ	担当課 担当者 (内線)	
	R6年度 取組内容	R6年度 実施状況	R6年度 成果	R6年度 評価			
<p>項目 (ア) 食品ロスの削減の意義の広報啓発</p> <p>施策 食品ロス問題を知ってもらい、家庭生活の中ですぐ にできる身近な取組を紹介したリーフレットを作成 し、県民の目に触れる場所に配布します。(再掲)</p>	<p>○高知新聞にペンシル広告を掲載し、食品ロス問題 について広報を実施する。</p> <p>○チラシを作成し、県内市町村に配布する。</p>	<p>・高知新聞ペンシル広告年間全5回実施 8/10「みんなで節約！食品ロス削減！」 10/1「10月は食品ロス削減月間！」 10/26「できることたくさんあるよ！食品ロス削減!!」 12/14「忘年会でも食品ロス削減！3010運動!!」 2/1「恵方巻きの食品ロスをなくそう」 ・チラシを12,000部作成し、県内市町村に配布</p>	<p>・高知新聞へのペンシル広告掲載やチラシの配布に より、広く食品ロス削減について啓発することがで きた。</p> <p>・県民意識調査(令和6年度)において、「食品ロス問 題を知っている(よく知っている・ある程度知ってい る)」と回答した県民は90.9%と高水準の結果となり、 食品ロスの削減の意義の啓発効果が表れている。</p>	<p>○ 計画どおり取り 組んでいる</p>	<p>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</p> <p>【実施予定】</p> <p>・高知新聞ペンシル広告年間全4回実施 テーマ案 10/1「食品ロス削減月間告知・食品寄附啓発」 10/30「食品ロス削減の日告知」 12/5 宴会時の3010運動 1/10 恵方巻き予約推奨</p>	23	県民生活課 森田 (9653)
<p>項目 (イ) 家庭における食品ロスのモニター調査</p> <p>施策 家庭から出される食品ロス量を実際に自分で計量 し、自らが発生させている食品ロス量を認識すること 等を通じて、県民に食品ロス問題を啓発することを 目的に、県内でモニターを募集し、家庭での食品ロ ス量の記録をつけてもらうモニター調査を実施しま す。また、調査結果を今後の取組に活かしていきま す。</p>	—	—	—	—	<p>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</p> <p>—</p> <p>【実施予定】</p> <p>—</p>	24	県民生活課 森田 (9653)
<p>項目 (ウ) 高知県地球温暖化防止県民会議県民部会で「環境 にやさしい買い物キャンペーン」を実施</p> <p>施策 プラスチックや輸送エネルギー、食品ロスの削減に つながる「環境にやさしい買い物」の実践回数によ るCO2削減量を集計し、集計結果に応じて表彰しま す。</p>	<p>○「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施(消 費・賞味期限が近いものの購入等)により、食品ロス 削減等環境に配慮した消費行動を促す。</p> <p>○環境にやさしい買い物回数を入力することでCO<sub>2</sub> 削減量を見える化する「環境パスポート」を稼働す る。</p>	<p>・環境にやさしい買い物回数等を入力することでCO<sub>2</sub> 削減量を見える化するWeb版「環境パスポート」を10 月よりアプリ化</p> <p>・高知県地球温暖化防止県民会議県民部会で「環 境にやさしい買い物キャンペーン」を実施(10/1～ 11/30)</p> <p>・「アプリ化キャンペーン第2弾エコ商品(産地が近い 生鮮食品、消費・賞味期限の近い商品、環境ラベル のついた商品)を購入しCO<sub>2</sub>削減に取り組もう！」を 実施(12/1～1/31)</p>	<p>環境にやさしい買い物キャンペーンや令和6年度の 環境パスポートのアプリ化により、食品ロス問題をは じめとする環境問題への意識を高め、取組を促進す ることができた(環境パスポート登録人数:2,805人 (令和7年3月末時点)、環境にやさしい買い物キャ ンペーン参加人数:3,512人(令和6年度))。</p>	<p>○ 計画どおり取り 組んでいる</p>	<p>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</p> <p>—</p> <p>【実施予定】</p> <p>・高知県地球温暖化防止県民会議県民部会で「環境 にやさしい買い物キャンペーン」を実施(10/1～ 11/30)</p> <p>・環境パスポートアプリを活用した県民の行動変容を 促すゼロスイッチキャンペーンを実施し、その中で手 前どりを通じた食品ロス対策の促進を図るキャンペ ーンを実施(10/1～11/30)</p>	24	環境計画 推進課 市原 (4538)
<p>項目 (エ) 家庭での備蓄についてホームページや啓発冊子で 「ローリングストック」を啓発</p> <p>施策 家庭での備蓄についてホームページや防災啓発冊 子「南海トラフ地震に備えちよき」の中で「ローリン グストック(普段から食べている食材を「備える」「食 べる」「補充する」と繰り返す方法)の取組を紹介しま す。</p>	<p>○県内量販店と協力した啓発 ○啓発動画をHPに公開 ○テレビ・ラジオ読み上げ広報 ○県内デジタルサイネージを活用した啓発</p>	<p>・県内量販店と協力した啓発 ・啓発動画をHPに公開 ・イベント等での啓発 ・県内量販店と協力した啓発(通年) ・啓発動画をHPに公開(通年)</p>	<p>ローリングストックに関する歌やダンス動画のHP及び デジタルサイネージ掲載、イベント等でのポスター掲 示やチラシ配布などにより、災害時の備蓄の必要性 と併せて食品ロス削減についても広く啓発ことが できた。</p>	<p>○ 計画どおり取り 組んでいる</p>	<p>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</p> <p>・県内量販店と協力した啓発(実施中) ・県内デジタルサイネージを活用した啓発(実施中) ・南海トラフ地震対策啓発イベントでの啓発(4/3～ 4/5) ・公式LINEでの啓発(5月30日)</p> <p>【実施予定】</p> <p>・南海トラフ地震対策啓発イベントでの啓発(10/4、 10/5予定) ・テレビ番組での啓発(おはようこうち・12月放送予 定)</p>	25	南海トラフ 地震対策課 須藤 (9798)

## 高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表

### (2) 食品ロスの発生抑制 イ 農林漁業者・食品関連事業者に向けた呼びかけ

成果目標(令和7年度)

- (1) 県内の食品ロス発生量を4年間で現状より5.2%削減する。
- (2) 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7(2025)年度まで90%以上にする。
- (3) 食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7(2025)年度までに3.4%以上にする。

R7.9末時点

実施項目 取組施策	計画(P)	実行(D)	成果(C)		計画 冊子 記載 ページ	担当課 担当者 (内線)	
	R6年度 取組内容	R6年度 実施状況	R6年度 成果	R6年度 評価			R7年度の実施状況と予定(A)
(ア)生産・流通等の各段階で生じる食品ロス削減の促進  ホームページ等を活用しながら、事業者に向けて生産・流通等の各段階で生じる食品ロス削減の取組事例の周知を行います。(季節商品の需要に見合った販売促進、外食事業者の小盛等の取組促進、自己責任の範囲で「持ち帰り」を行うことを当たり前にする啓発など)	当課のHP上で、事業者に向けて生産・流通等の各段階で生じる食品ロス削減の取組事例等の周知を行う。	・フードドライブ活動啓発動画の制作及びHP、SNS等掲載 ・てまえどり啓発キャンペーン(県内コンビニ、量販店398店舗) ・食品ロス削減チラシのHP掲載	・てまえどりについて協力を呼びかけ、食品ロス削減の取組について啓発を行うことができた。また、食品寄附につながるフードドライブ活動啓発動画の一部スーパーマーケット、社会福祉協議会、市町村役場、ケーブルテレビ等での放映を通して啓発を行うことができた。	○ 計画どおり取り組んでいる	【既の実施したこと(実施中のものを含む)】 ・てまえどり啓発資料を当課HPからダウンロードして活用してもらえるよう協力依頼。 ・県内市町村等へ個別に放映の協力依頼をし、物理的に放映が難しい(デジタルサイネージが設置されていない等)市町村等以外は放映してもらっている。  【実施予定】 ・フードドライブ活動啓発動画の放映箇所の増加のための協力依頼	25	県民生活課 森田 (9653)
(ア)生産・流通等の各段階で生じる食品ロス削減の促進  食品加工事業者を中心に、県内事業者に対してフードバンク等の取組を紹介し、賞味・消費期限が迫った商品の活用を促進します。 食品ロス削減に関する国や県の動きについて、県内事業者へ情報提供し、原材料の廃棄ロス削減等による生産性向上に繋がるよう啓発を行います。	○食品加工事業者を中心に、県内事業者に対してフードバンク等の取組を紹介し、賞味・消費期限が迫った商品の活用を促進する。  ○食品ロス削減に関する国や県の動きについて、県内事業者へ情報提供し、原材料の廃棄ロス削減等による生産性向上に繋がるよう啓発を行う。	・4/9メールマガジンにて、こうちSDGs推進企業登録制度(令和6年度第1回)募集開始をお知らせ ・メールマガジンを活用し、県内のフードバンク活動団体について食品加工事業者へ周知(12月)	メールマガジンを活用し、県内食品関連事業者に向けて、こうちSDGs推進企業登録制度及びフードバンク活動について情報を提供することができた。	○ 計画どおり取り組んでいる	【既の実施したこと(実施中のものを含む)】 生産管理の高度化に向けた専門家派遣や食品期限表示の設定のためのガイドラインの周知を実施。  【実施予定】 食品残渣等を活用した商品開発の支援及びメールマガジンを活用したフードバンク活動等の周知。	25	地産地消・ 外商課 戸田 (2542)
(ア)生産・流通等の各段階で生じる食品ロス削減の促進  余剰在庫や廃棄原材料を活用した商品開発・販売を促進することで、農林漁業者・食品関連事業者の生産段階での食品ロスを削減するとともに、新たな価値の付加による魅力ある新製品の創出を支援します。	「フードテックによる有用バイオマスの研究開発」に取り組む(R4～R6)。 (内容) 搾汁残さや糠をバイオエタノールに変換し、化粧品等への応用を図る。また糖質素材を昆虫タンパク質へと変換し、新規食品の開発に応用する。	・バイオエタノール生産に向けた基礎研究 エタノールの濃縮試験  ・有用タンパク分解物の開発 タンパク分解物のLC-MSシステムによる成分解析	①バイオエタノール生産に向けた基礎研究 凍結濃縮装置を用いたエタノールの濃縮試験を実施し、本装置がエタノール濃縮だけでなく、微量の揮発性成分の濃縮について有効であることも明らかにした。(本研究は令和6年度をもって終了)  ②有用タンパク分解物の開発 LC-MSシステムを用いて昆虫タンパク分解物のアミノ酸、ペプチド等を解析し、食用昆虫が有用タンパク質源であるだけでなく、機能性成分を含む有用な素材であることも明らかにした。(本研究は令和6年度をもって終了)	○ 計画どおり取り組んでいる	【既の実施したこと(実施中のものを含む)】 ・エタノールの凍結濃縮試験に関する研究成果を学会で発表、県内事業者へ情報提供。 ・食品残さを活用した食用昆虫の生産について県内事業者へ情報提供。  【実施予定】 本研究に関心のある県内企業に対し、技術的な情報の提供を行っていく。	25 26	工業振興課 野本
(ア)生産・流通等の各段階で生じる食品ロス削減の促進  県内の中小企業関係団体を通じて、チラシ等の配布、広報誌への掲載等により、食品関連事業者以外の事業者も含め啓発を図ります。	ポスターやチラシなどの広報媒体を活用して、中小企業関係団体を通じた啓発を行う。	・商工会議所及び商工会(連合会含む)にポスター及びチラシを配布。 ・引き続き、商工会議所及び商工会を通じて、所管地域の事業者への周知・啓発を依頼。	商工会議所及び商工会による周知・啓発を通じて、地域の事業者の食品ロス削減に対する意識の醸成に寄与した。	○ 計画どおり取り組んでいる	【既の実施したこと(実施中のものを含む)】 商工会議所及び商工会(連合会含む)にポスター及びチラシを配布。  【実施予定】 引き続き、商工会議所及び商工会を通じて、所管地域の事業者への周知・啓発を依頼。	26	経営支援課 近藤

高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表

(2) 食品ロスの発生抑制 ウ 消費者と農林漁業者・食品関連事業者双方に向けた呼びかけ

成果目標(令和7年度)

- (1) 県内の食品ロス発生量を4年間で現状より5.2%削減する。
- (2) 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7(2025)年度まで90%以上にする。
- (3) 食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7(2025)年度までに3.4%以上にする。

R7.9末時点

実施項目 取組施策	計画(P)	実行(D)	成果(C)		計画 冊子 記載 ページ	担当課 担当者 (内線)	
	R6年度 取組内容	R6年度 実施状況	R6年度 成果	R6年度 評価			
<p>項目 (ア) 規格外や未利用の農・水産物の有効活用に係る普及啓発</p> <p>施策 規格外や未利用の農産物をフードバンクに寄附する取組の紹介など、農産物の食品ロスが削減できるような普及啓発活動を行います。</p>	<p>○規格外や未利用の農産物をフードバンクに寄附する取組の紹介など、農産物の食品ロスが削減できるような普及啓発活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国四国農政局から食品ロスに関する周知依頼があった次の内容について、県内各市町村へ周知</li> <li>・食品ロス削減のための消費者啓発に取り組む小売・外食事業者、地方自治体の募集</li> <li>・2025年の恵方巻きロス削減に取り組む事業者の募集</li> <li>・中国四国農政局等から食品ロスに関する周知依頼があれば、県内各市町村や農業者へ周知を行う。</li> </ul>	<p>県内各市町村へ食品ロスに関する一定の周知が図れた。</p>	<p>○ 計画どおり取り組んでいる</p>	<p>【既の実施したこと(実施中のものを含む)】</p> <p>—</p> <p>【実施予定】 中国四国農政局等から食品ロスに関する周知依頼があれば、県内各市町村や農業者へ周知を行う。</p>	26	農業政策課 中野 (4510)
<p>項目 (ア) 規格外や未利用の農・水産物の有効活用に係る普及啓発</p> <p>施策 魚食普及活動による魚のさばき方、料理方法等(内臓料理)による魚の有効利用(残さの減少)の普及やサメ等の未利用魚の活用について検討します。</p>	<p>○魚食普及活動 県内の小学校等において県産水産物等に関する学習と調理体験による食育授業の実施 R6年度実施計画:14回</p> <p>○サメ等の未利用魚の活用 年間複数回実施するサメ駆除等で漁獲したサメの魚肉等を県内外へ販売し、有効活用する。</p>	<p>〈魚食普及活動〉 食育授業:14回実施 〈サメ等の未利用魚の活用〉 ◇サメ駆除 ・9/7:サメ駆除により、約14kgのサメ肉(未加工)を確保 ・9/28:サメ駆除実施(漁獲無し) ・3/8:サメ駆除により、約100kgのサメ肉(未加工)を確保 ◇サメ肉の有効活用 ・6/5:既存取引先(県外業者)へ納品 ・10/24:既存取引先(県外業者)へ納品 ・12/11:既存取引先(県外業者)へ納品</p>	<p>〈魚食普及活動〉 食育授業を受けた児童へ実施したアンケートによると、調理実習をして家でも魚を使った料理をしたいと回答した児童が8割を超えており、魚食普及と魚の有効活用に一定の効果が見られた。</p> <p>〈サメ等の未利用魚の活用〉 サメ駆除によって水揚げされたサメ肉を県外業者へ販売することで有効利用が図られた。</p>	<p>◎ 計画以上にに取り組んでいる</p>	<p>【既の実施したこと(実施中のものを含む)】 〈魚食普及活動〉 県内の小学校等を対象に、10月以降の食育事業13回実施に向けて、関係者と調整中。 〈サメ等の未利用魚の活用〉 ◇サメ駆除 ・6/21:サメ駆除実施(漁獲なし) ・9/27:サメ駆除により、サメ肉約70kgを確保(皮付輪切り肉) ◇サメ肉の有効活用 ・4/30、既存取引先(県外業者)へサメ肉を納品</p> <p>【実施予定】 〈魚食普及活動〉 家庭で取り入れやすい県水産物のレシピを用いて、家庭での魚食普及と魚の有効活用を推進する。 〈サメ等の未利用魚の活用〉 サメ駆除の実施や他の漁業で漁獲されたサメの確保を継続するとともに、既存取引先へのサメ肉のさらなる販売拡大を働きかけていく ・10/1:クエ縄の混獲魚からサメ肉23.7kgを確保</p>	26	水産業振興課 濱田、青野 (4611)
<p>項目 (イ) 「高知県リサイクル製品等認定制度」に基づく、リサイクル製品や取組の認定を通じた食品廃棄物削減の支援</p> <p>施策 食品廃棄物削減に係る製品や取組を認定し、パンフレットの配布やホームページでの紹介、各種展示などを通じて普及促進を図ります。</p>	<p>○R4年度高知県リサイクル製品等認定制度パンフレットを関係団体等へ送付</p> <p>○高知県リサイクル製品等認定制度のパネル展示(オーデビア、県庁ロビー等)及び図書連携展示(オーデビア)</p> <p>○R5年度高知県リサイクル製品等認定制度募集チラシ配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル製品等認定制度パンフレットの住民・団体への配布</li> <li>・リサイクル認定製品、事業場、エコショップの募集案内の配布</li> <li>・リサイクル製品等認定制度愛称募集に関するチラシの配布</li> <li>・リサイクル製品等認定制度のパネル展示及び3Rに関する図書展示による広報活動</li> <li>・リサイクル製品の新規認定募集(計4件申請)</li> <li>・リサイクル認定制度愛称募集(計1180件応募)</li> <li>・リサイクル認定製品、事業場、エコショップの認定(1月)</li> <li>・リサイクル認定制度愛称の決定(1月)</li> </ul>	<p>・リサイクル製品等認定制度に関するパンフレット配布、パネル展示に加えて新たに図書館と連携し、図書展示を行うことにより、3Rに関する図書の貸し出しが行われるなど食品ロス削減を含む3Rに関する意識醸成を図ることができた。 〈貸出本冊数 111冊〉 ・新規認定製品 1件</p>	<p>○ 計画どおり取り組んでいる</p>	<p>【既の実施したこと(実施中のものを含む)】 ・リサイクル製品等認定制度パンフレットの住民・団体への配布 ・リサイクル認定製品、事業場、エコショップの募集案内の配布 ・リサイクル製品等認定制度のパネル展示及び食品ロス削減を含む3Rに関する図書展示による広報活動 〈貸出本冊数 134冊〉</p> <p>【実施予定】 リサイクル認定製品、事業場、エコショップの認定</p>	26	環境対策課 川村 (3232)

## 高知県食品ロス削減推進計画進捗管理表

### (3) 未利用食品の活用推進

成果目標(令和7年度)

- (1) 県内の食品ロス発生量を4年間で現状より5.2%削減する。
- (2) 食品ロス問題を認知し、食品ロス削減に取り組む県民の割合を令和7(2025)年度まで90%以上にする。
- (3) 食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合を令和7(2025)年度までに3.4%以上にする。

R7.9末時点

実施項目 取組施策	計画(P)	実行(D)	成果(C)		R7年度の実施状況と予定(A)	計画 冊子 記載 ページ	担当課 担当者 (内線)
	R6年度 取組内容	R6年度 実施状況	R6年度 成果	R6年度 評価			
<b>項目</b> (ア) フードバンク活動の周知  <b>施策</b> ホームページにフードバンクの概要や団体ホームページのリンク等の情報を掲載することで、フードバンク・フードドライブ活動への理解を促進するとともに、食料提供の増を図ります。その他、テレビやラジオ、SNS等によりフードバンク・フードドライブ活動やイベント実施等のタイミングを押さえた情報提供を行い、活用の周知や食料提供の増を図ります。	○ホームページにフードバンクの概要や団体ホームページのリンク等の情報を掲載する。  ○フードバンク活動団体へ国補助事業等の情報提供を実施。	・フードバンク活動団体へ農林水産省の令和5年度補正食品ロス削減緊急対策事業を周知。 ・引き続き、フードバンク活動団体へ国補助事業等の情報提供を実施。 ・フードドライブキャンペーン(10月、11月)について、県の広報媒体を活用し広報を実施。	・引き続き、県HPにフードバンクの概要や団体ホームページのリンク等の情報を掲載。 ・フードドライブキャンペーン(10月、11月)について、県HP及び地域共生社会ポータルサイト、県SNS(X)で広報し、県民に周知を図ることができた。 ・フードバンク団体へ政府備蓄米の無償交付に関する周知を実施し、制度活用に繋がった。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ・引き続きホームページにフードバンクの概要や団体ホームページのリンク等の情報を掲載。 ・フードバンク団体へ政府備蓄米の無償交付に関する周知を実施。  <b>【実施予定】</b> フードドライブキャンペーン(10月、11月)について、県の広報媒体を活用し広報を実施。	26	地域福祉 政策課 畠中 (9090)
<b>項目</b> (イ) 「フードドライブの手引き」の作成  <b>施策</b> 家庭で余っている食品を、食料を必要としている方に寄附する「フードドライブ」の取組について、寄附先を増やしていくため、実施する際の手順や衛生管理への留意点などをまとめた手引きを作成し、周知します。	フードドライブ活動啓発動画を作成し、当課ホームページや社会福祉協議会、一部ケーブルテレビ等で放映する。	・作成したフードドライブ活動啓発動画を下記にて放映。 県ホームページ、YouTube広告等、県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会、食支援ネット、フジ、生協、一部市町村役場、香南ケーブルテレビ、四万十町ケーブルテレビ ・(株)フジとマルナカ15店舗でのフードドライブ活動に関する協定を締結し、フードドライブを常設。くろしおくんを活用した「活動実施のぼり」の配布・設置により活動をPR。	食品ロス削減だけでなく、生活困窮者支援等にもつながる食品寄附活動について県民に広く啓発することができた。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ・県内小中学校の栄養教諭や調理師が参加する学校給食衛生管理食育研修会での放映 ・啓発動画の放映箇所の増加のための協力依頼  <b>【実施予定】</b> 引き続き啓発動画の放映箇所の増加のための協力依頼	26 27	県民生活課 森田 (9653)
<b>項目</b> (エ) 家庭での備蓄についてホームページや啓発冊子で「ローリングストック」を啓発  <b>施策</b> 家庭での備蓄についてホームページや防災啓発冊子「南海トラフ地震に備えちよき」の中で「ローリングストック」(普段から食べている食材を「備える」「食べる」「補充する」と繰り返す方法)の取組を紹介しします。	○県内量販店と協力した啓発 ○啓発動画をHPに公開 ○テレビ・ラジオ読み上げ広報 ○県内デジタルサイネージを活用した啓発	・県内量販店と協力した啓発 ・啓発動画をHPに公開 ・イベント等での啓発 ・県内量販店と協力した啓発(通年) ・啓発動画をHPに公開(通年)	ローリングストックに関する歌やダンス動画のHP及びデジタルサイネージ掲載、イベント等でのポスター掲示やチラシ配布などにより、災害時の備蓄の必要性と併せて食品ロス削減についても広く啓発することができた。	○ 計画どおり取り組んでいる	<b>【既に実施したこと(実施中のものを含む)】</b> ・県内量販店と協力した啓発(実施中) ・県内デジタルサイネージを活用した啓発(実施中) ・南海トラフ地震対策啓発イベントでの啓発(4/3～4/5) ・公式LINEでの啓発(5月30日)  <b>【実施予定】</b> ・南海トラフ地震対策啓発イベントでの啓発(10/4、10/5予定) ・テレビ番組での啓発(おはようこうち・12月放送予定)	25	南海トラフ 地震対策課 須藤 (9798)

# 令和7年度食品ロス削減等に関する県民世論調査結果【速報値】

## ●調査の設計

調査期間：令和7年7月28日（月）～8月25日（月）

調査の対象：県内全域から18歳以上の県民3,000人を抽出（層化二段無作為抽出法）

有効回収率：51.2%（1,536人）

### 問1 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。（一つだけ○印）

項目	(参考)令和6年度	令和7年度	国調査 ※1(R7.9月)
1よく知っている	33.3%	46.7%	26.0%
2ある程度知っている	57.6%	46.7%	55.2%
<b>知っている(1+2の計)</b>	<b>90.9%</b>	<b>93.4%</b>	<b>81.2%</b>
3あまり知らない	7.7%	4.8%	10.6%
4まったく知らない	1.4%	1.0%	8.2%
<b>知らない(3+4の計)</b>	<b>9.1%</b>	<b>5.8%</b>	<b>18.8%</b>
無回答	0%	0.8%	-

※1 令和7年9月に消費者庁が行った「令和7年度第1回消費生活意識調査」（以下「国調査」という。）

※小数点以下の端数処理の関係で合計と一致しないことがある。

○ 本県では「知っている」との回答は93.4%、「知らない」との回答は5.8%で、全国と比べ、食品ロス問題を認識している県民の割合は高く、その割合は、昨年度の県民意識調査より2.5ポイント上がっている。

また、「よく知っている」との回答が令和6年度調査に比べて13.4%増加し、「ある程度知っている」との回答が10.9%減少していることから、認知度の上昇に加え、多くの県民が食品ロス問題を熟知してきたと考えられる。

### 問2 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。（当てはまるものすべてに○印）

順位	選択肢	回答比率		
		(参考)令和6年度	令和7年度	国調査(R7.9月)
1位	残さずに食べる	68.0%	86.5%	61.1%
2位	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	68.8%	84.0%	47.5%
3位	冷凍保存を活用する	53.6%	82.6%	42.5%
4位	飲食店等で注文し過ぎない	34.9%	81.1%	32.3%
5位	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	37.0%	73.9%	33.2%
6位	料理を作り過ぎない	37.6%	73.1%	31.1%
7位	期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ	42.6%	72.0%	31.1%
8位	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	30.8%	71.5%	25.6%
9位	残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	23.1%	50.1%	21.0%
10位	商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する	19.6%	42.3%	16.3%

11位	外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	6.9%	36.6%	9.1%
12位	食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする	2.0%	8.0%	—
13位	取り組んでいることはない	3.8%	4.4%	15.3%
14位	その他	2.2%	2.1%	0.3%

- 回答の上位4項目は、今年度も回答比率が高い。
- ほぼ全ての項目において、取り組んでいると回答した割合が増加しており、令和6年度より多くの県民が食品ロス削減のための行動に取り組んでいることがわかる。
- 食品ロス削減に「取り組んでいることはない」と回答した割合は令和6年度より増えたものの、全国と比べると大幅に少なく、食品ロスの削減に向けて行動を起こしている県民が多いと言える。また、取り組んでいる内容すべてにおいて、全国より割合が高い。これらの結果から、本県は全国と比べて食品ロス問題に対する意識が高く、削減に向けた行動がとれていると考えられる。

### ●食べない食品や利用しない食材等をフードバンク等に寄附をする県民の割合

(参考) 令和6年度	令和7年度	国調査 ※2 (R5.9月)	高知県食品ロス 削減推進計画 達成目標 (R7年度)
2.0%	8.0%	1.5%	3.4%以上

※2 令和5年9月に消費者庁が行った「令和5年度第2回消費生活意識調査」

- 問2の回答第12位の「フードバンクや子ども食堂等への寄附」は、今年度は8.0%と、高知県食品ロス削減推進計画の目標を達成した。  
しかしながら、令和3年度からの平均は3.0%にとどまっているため、引き続き、状況を確認しながら必要な取組を進める。(令和3年度:1.7%、令和4年度:2.0%、令和5年度:1.5%)

### ●食品ロス問題を認知し、削減に取り組んでいる県民の割合(問1及び問2を基に算出)

(参考) 令和6年度	令和7年度	国調査 (R7.9月)	高知県食品ロス 削減推進計画 達成目標 (R7年度)
88.6%	90.2%	77.2%	90%以上

- 食品ロス問題を認知し、削減に取り組んでいる県民の割合は、全国と比べて高く、令和6年度と比べて1.6ポイント増加している。  
今回の調査では90.2%と、高知県食品ロス削減推進計画の目標を達成したが、令和3年度からの平均は88.8%と目標を下回っており、ターゲットを絞った広報啓発などを行っていく必要がある。

## 第2期高知県食品ロス削減推進計画の策定について

### 【検討スケジュール】

令和7年6月9日（月）

#### ●第1回検討委員会

- ・座長の選出
- ・食品ロスの現状
- ・食品ロス削減推進法及び国の第2次基本方針の概要説明
- ・計画骨子（案）の確認
- ・策定スケジュールの確認
- ・その他（次回の日程確認など）

令和7年9月9日（火）

#### ●第2回検討委員会

- ・第1回検討委員会意見に対する県の考え方
- ・第1期計画の取組（R6年度末までの実績・R7年度予定）
- ・県計画（素案）の内容検討
- ・その他（次回の日程確認など）

令和7年11月13日（木）

#### ●第3回検討委員会

- ・第2回検討委員会意見に対する県の考え方
- ・令和7年度事業系食品ロス量及び県民世論調査結果の報告
- ・県計画（案）の内容検討
- ・その他（次回の日程確認など）

※12月県議会（危機管理文化厚生委員会）へ計画改定案の報告

※パブリックコメントの実施（12月県議会終了後）

令和8年1月下旬

#### ●第4回検討委員会（…書面会議を想定）

- ・パブリックコメントを踏まえた計画最終案の確認
- ・その他

※2月県議会（危機管理文化厚生委員会）へ計画最終案の報告  
（第3回検討委員会の内容と変更なければ省略）

令和8年3月中旬 「第2期高知県食品ロス削減推進計画」策定